

# 女性議会

## 質問通告書一覧

令和元年11月19日

### 【説明の順番】

- 1番 鈴木 清子さん  
テーマ1：西尾市クリーンセンターへのごみの搬入時における渋滞緩和  
テーマ2：男女共同参画を推進する地域リーダーの育成
- 2番 鋤柄 美和子さん  
テーマ：西尾市の農業の今後のあり方
- 3番 鈴木 百合子さん  
テーマ：西尾駅周辺の賑わい創出について
- 4番 尾崎 百合江さん  
テーマ：災害時における要配慮者の避難と事前対策
- 5番 柴田 桂子さん  
テーマ：水産業の活性化に向けた取組
- 6番 大溪 明日香さん  
テーマ：スマート子育て自治体を目指した取組
- 7番 松井 知代美さん  
テーマ：子育て家庭の支援

## 女性議会 一般質問通告書

氏名 鈴木 清子

テーマ	<p>(1) 西尾市クリーンセンターへのごみの搬入時における渋滞緩和について</p> <p>(2) 男女共同参画を推進する地域リーダーの育成について</p>
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私は、大型ごみを処分する際、西尾市クリーンセンターを利用しています。通常のごみの処分であれば、町内に設置されたごみステーションや常設資源ステーションを利用すればいいのですが、大型ごみとなると直接クリーンセンターへ搬入しています。いつも一般の搬入車両が調整池まで並び、1時間以上待つこともあります。渋滞の列に並びながら、「待ち時間の遅延化を何とか解決できないか」といつも考えています。焼却棟内に入ると、パッカー車がごみを投入するブースは比較的空いています。一般可燃ごみを降ろすブースが少なく、これも渋滞を引き起こす要因のひとつだと思います。生活する私たちが、ごみの量を減らすことが一番の解決策だと思いますが、使い捨て文化や過剰包装などもごみが増加する原因だと思います。混み合っている時などは、事業系ブースを一般可燃ごみブースとして一部開放するなど臨機応変な対応はとれないでしょうか。そうすることで、渋滞の解消につながると考えます。</p> <p>私は、男女共同参画社会の実現を目指し活動する市民活動団体「やなぎ会」のメンバーです。8月末までは、愛知県男女共同参画審議会委員のメンバーとしても活動していました。昨今、様々な分野でリーダーシップを発揮する女性が増えています。少子高齢化が進展する中で、女性のエンパワーメントを推進することは、人権への理解を深めるばかりでなく、社会や企業の持続的な発展にもつながります。これまで、男性中心に作られた社会の仕組みの中で、女性に対する固定的な性別役割分担意識が残っており、女性の能力は十分に発揮されてきませんでした。これまでの活動を通じて感じることは、「男女共同参画」という字のごとく、「男女がともに、社会の様々な役割に参画する」ことが大切だと思います。男女共同参画の推進は、地域におけるリーダーの育成がカギです。西尾市においても、地域リーダーとして女性の活躍に期待しています。</p> <p>そこで、質問します。</p>

## 質問

1. 今年7月上旬、西尾地区において「市長と語る市政懇談会」が開催されました。その際、「クリーンセンターへのごみの搬入時における渋滞に関する」質問がありました。市長の答弁では、「現在、渋滞緩和の対策を模索している。今しばらく時間をいただきたい」との回答でしたが、その後4か月が経過しどのような対策を検討してきましたか。

### 【再質問】

クリーンセンターの利用者が多いということは、年々、ごみ量も搬入台数も増えているかと思いますが、その要因は何だと思いますか。

2. 現在、市内には、様々な地域課題を解決するため、自発的に活動する市民活動団体やグループなどが存在しています。昨年度末、第2次西尾市男女共同参画プラン改訂版が策定されました。プラン策定に係る団体調査では、「約7割が、活動の中で男女共同参画の視点での取り組みを実践している」という回答でした。地域における男女共同参画の推進は、このように市民活動団体や、町内会、自主防災会等が、活動の中で男女共同参画の視点を取り入れていただけることが、少しずつではありますが、意識改革につながると考えます。男女共同参画を推進していく中で、核となる地域リーダーの育成を進めていく必要がありますが、団体や地域への働きかけについて、今年度実施する具体的な施策を教えてください。

## 女性議会 一般質問通告書

氏名 鋤柄 美和子

テーマ	西尾市の農業の今後のあり方について
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は、愛知県田原市の出身で、田原市内で3年ほど農業を営んでおりました。昨年、結婚を機に西尾市へ転入し、現在は西尾市内の農家で働いています。</p> <p>これまで、西尾市の農業のイメージといえば「抹茶」と言うことくらいしか知りませんでした。そこで、「西尾市の農業の現状はどの様になっているのだろうか。」「もっと知りたい」と思い、色々と調べてみました。</p> <p>2015年農林業センサスによりますと、西尾市の就農人口は、3,035人。その中でも64歳以下の就農人口は、1,207人となっています。どこの地域でも農業の後継者不足問題が深刻ではありますが、市内に在住する外国人居住者の方たちよりも就農人口が少ないことに驚きました。</p> <p>また、西尾市の農業は、てん茶栽培のほかに、花卉の栽培が盛んなことや、米・麦・大豆を大規模で生産していたり、きゅうりやいちごの施設栽培にも力をいれて取り組んでいることを知りました。</p> <p>そのような現状の中で、西尾市の今後の農業のビジョンはどの様になっているのだろうと思ひ調べてみましたが、見つけることが出来ませんでした。</p> <p>近年、23号バイパス近郊の農地は、工場誘致が行われ、米・麦・大豆などを生産する農家は、大規模な面積が必要にも関わらず、その農地が消失している現状があると聞きます。また、工場が建設されたことにより、風が遮られるようになってしまった影響で、病気の発生が増えたり、工場や駐車場の防犯のため、24時間点灯している照明の影響で、生育障害が発生したりもしています。</p> <p>その他、田んぼや畑は、自然のダム機能を果たすことから、水害から私たちの生活を守る重要な役割を担っていますが、昨今、大雨による水害は、各地では大きな被害をもたらしています。アスファルトやコンクリートで固められてしまった地面は、そのような機能を果たしてくれることはありません。</p> <p>農業は、その土地で昔から営まれてきており、土地を移り変わることなくこれからも同様にこの地で営まれていくものです。農業の果たす役割は、食糧の供給だけでなく、地域の環境保全、</p>

	<p>文化伝承や教育の場、ダム機能としての防災の役割、美しい景観の形成など、多岐にわたる役割を果たしています。これら多くの役割を果たす農業は、地域にとっても重要な基幹産業でもあると私は思っています。</p> <p>農業にたずさわる者にとって、ビジョンの見えない中で農業を営んでいくことは不安なことです。</p> <p>そこで、質問します。</p>
<p>質問</p>	<p>1. 西尾市の農業に関する将来的なビジョンは、どのようになっていますか。また、現状の課題と、課題解決のために、今後取り組んでいかなければならないと考える具体的策を教えてください。</p> <p>【再質問】</p> <p>「にしお農業塾」や「いちじくスクール・いちごスクール」では、現在、何名の方が受講していますが。また、過去に何名の方が受講し、新規就農に繋がりましたか。</p> <p>2. 23号バイパス近郊の工場建設は、今後どの程度の面積を予定していますか。それに伴う排水整備計画はどのようになっていますか。</p>

## 女性議会 一般質問通告書

氏名 鈴木 百合子

テーマ	西尾駅周辺の賑わい創出について
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は、名鉄西尾駅に近い桜木町に住んでいます。10年ほど前、現在の場所に転居してきました。それと同時に運転免許証の更新をやめ、今は、自転車、電車、くるりんバスが私の移動手段となっています。中心市街地で暮らすようになり、駅周辺を歩く機会も増え、生活している者の視点から、駅周辺のまちづくりについて、考えてみようと思いました。</p> <p>ここ数年、駅西は、西尾コンベンションホールをはじめ、カラオケ店や漫画喫茶、学習塾が立ち並び整備されました。駅の東側にはヴェルサウォークが建ち、西側には今年3月、ホテルもオープンしました。駅前周辺の整備が進み、閑散としていた土地に少し活気が戻ったような気がします。</p> <p>一方、残念に感じることもあります。駅の改札を出て階段を下りた先に観光案内所がありましたが、コンベンションホールの完成とともに、そちらに移転したことで、スペースは空いた状態となっています。西尾に到着し、まず目に飛び込んでくる光景が「入居者募集」の看板では、おもてなしの心が伝わりません。「三河の小京都」と呼ばれる風情のあるまちに、駅前のカラオケ店や漫画喫茶も、少し景観を損ねていると感じます。</p> <p>17万人市民が、未来に夢や希望を持って住み続けられるためには、若者が多く住み、高齢者にとっても便利で活気のあるまちを作ることではないでしょうか。</p> <p>西尾駅を公共交通の拠点として、人が移動しやすい、商業施設等に行きやすいなど、中心市街地への流れを活性化することが、賑わい創出や観光交流の促進になるかと思います。</p> <p>来年3月には、寺津方面のバス路線が廃線になるという話を聞きました。公共交通利用のPRを強化してほしいと思います。同時に、西尾市の玄関口となる西尾駅周辺の整備について、特産品である「西尾の抹茶」や、「みどり川四九（よくばり）朝市」などの地域資源を生かした駅周辺の賑わい創出にも期待したいと思います。そこで、質問します。</p>

## 質問

1. 市ホームページを見ると、くるりんバスについて、「お得な制度の紹介」が掲載されています。乗車回数券や「いこまいかー」との乗り継ぎなど、多くの皆さんは、知らないと思います。西尾駅を発着点として市内を巡回する「くるりんバス」の利用者の増加を図ることが、まちなかの賑わい創出につながると思います。お得な制度の周知方法なども含め、くるりんバス利用者の増加を図るため、具体的にどんなことに取り組んでいますか。
2. 西尾市の中心市街地を再生し、活性化していくことを目的に設立された「株式会社城下町PRIDE」があると聞きました。「みどり川四九（よくぼり）朝市」の運営を任せられていると聞いたので、先日、朝市に行き、代表者の方と話しをしました。西尾市の商工観光振興において、四九朝市以外に、「株式会社城下町PRIDE」との連携実績があれば教えてください。
3. 最近、四九朝市で買い物をする人も少なくなっていると感じます。「株式会社城下町PRIDE」代表者の方のお話しからも、私は、活性化と存続が課題ではないかと感じました。駅から近い立地条件はとても強みだと思います。例えば、インパクトのあるのぼり旗を駅前に設置したり、「西尾の抹茶」を使用したスイーツ店の出店や、子どもたちが楽しむことができるようなイベントの開催など、子育て世代を中心に多くの方が足を運ぶような仕掛けを、市観光協会や民間と協力し取り組んでみてはどうでしょうか。

### 【再質問】

以前は、西尾駅構内に観光案内所がありましたが、コンベンションホールの完成とともにそちらに移動されました。改札を通り駅の階段を下りた時に、観光案内所の案内看板が目立たないので、目立つ位置に案内看板を変更しませんか。

## 女性議会 一般質問通告書

氏名 尾崎 百合江

テーマ	災害時における要配慮者の避難と事前対策について
現状や課題 意見・提案事項	<p>昨今、日本各地で、私たちの記憶に残る大きな災害が次々と発生し、被災を経験しています。</p> <p>ここ西尾市も、過去の経験から東海地震、南海トラフ地震が発生した場合、大きな被害が予想されています。ハザードマップや避難所運営マニュアルの作成はもちろん、多言語支援マニュアルの作成も進んでいるとお聞きしています。</p> <p>また、自助の意識を促すために、去年は「女性のための防災リーフレット」を作ったり、今年「防災レシピコンテスト」を開催したりと、災害に備える心の準備の大切さに気付けるよう推進してくださっていると感じます。</p> <p>市民ひとり一人が、「自分の身は自分で守る」、そして、「公的な援助に頼りすぎない」という心の準備をする事が第一です。災害時の自助、そして自主防災会の自立が減災の大きなカギになると私は考えます。</p> <p>しかし一方で、障がいのある方や高齢者、乳幼児を持つ家族は、日々の暮らしの中で、時間や気持ちなどに余裕がなく、災害に対する事前準備が行き届かない実情があります。また、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの福祉施設も同じことが言えると思います。</p> <p>いっどこで起きてもおかしくない自然災害の発生に備え、災害時における要配慮者の避難行動を支援するなど、一人ひとりの個別計画の作成やその進捗状況、フォローアップ状況等を福祉施設と連携を図り、健常者よりも手厚い支援が必要だと考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
質問	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者や障害者など災害時要配慮者と言われる方について、福祉避難所の受け入れ態勢は、どのような状況でしょうか。</li> <li>2. デイサービスなどの送迎中に被災した場合、対処方法がどのようになっているか以前から気になっていたのですが、市として把握されていますか。</li> </ol>



3. 全盲の一人暮らしの方と話しをする機会があり、災害時の不安が大変大きいと感じました。視覚障害者や盲ろうの方などについて、ニーズの把握はできていますか。

**【再質問】**

避難行動要支援者名簿を自主防災会長や民生委員に情報提供しているというお話ですが、活用されているのでしょうか。また、活用している場合は、活用方法を教えてください。

## 女性議会 一般質問通告書

氏名 柴田 桂子

テーマ	水産業の活性化に向けた取組について
現状や課題 意見・提案事項	<p>西尾市は、豊かな自然環境に恵まれ、農・水産業が盛んで、その産物も多彩です。</p> <p>本市の水産業については、三河湾に面していることから、あさり採貝、うなぎやのりの養殖が盛んに行われています。広大な一色干潟をはじめ、干潟が数多く存在していることもあり、特にあさりの採貝は盛んで、愛知県の漁獲量は全国1位と聞いています。例年、3月～7月頃には、多くの潮干狩り客で賑わっていますが、ここ数年は、あさりの成長不良から潮干狩り場の営業中止が相次いでいます。</p> <p>西三河地方の中心漁港である一色漁港をはじめ、市内の各漁港では、様々な魚介類が水揚げされていますが、漁獲量は減少傾向にあるようです。また、漁業就業者の高齢化が進むとともに、新たな漁業就業者の減少や、不安定な収入が続き、漁業経営が厳しいために、漁師のお子さんが必ずしも漁業に就くとは限らなくなっています。</p> <p>以上のように、漁業従事者を取り巻く環境は、厳しい状況となっており、経営者の減少と高齢化の同時進行を食い止める取り組みが必要だと考えます。</p> <p>1980年代初めまで、沿岸漁業では「捕る漁業」が中心でした。しかし、平成に入ってから、海の環境の変化や乱獲のために漁獲量が減少し、環境を保護しながら資源を回復させる漁業への転換が叫ばれています。本市においても、西尾市総合計画に明記されていますが、ある程度まで成長させてから海に放流し、大きくなるのを待ってから捕る「栽培漁業」を推進しています。</p> <p>行政においては、海の環境を守り、豊かな水産資源がいつまでも続くよう、これからも監視と指導をお願いしたいと思います。</p> <p>そこで、質問します。</p>

質問

1. 総合計画では、漁業の6次産業化を推進し、産物の高付加価値化を図ると書かれていますが状況はどのようなか。また、西尾市内の漁業協同組合の経営安定のための取り組み状況はどのようなか。
  2. 若手漁業従事者の確保や担い手の育成が急務だと思いますが、担い手育成事業など支援制度はありますか。
- 【再質問】
- 制度の活用実績がないということですが、実績が上げられるような方法が何かありますか。
3. 「捕る漁業」から「育てる漁業」への転換を推進していることを私は初めて知りましたが、地場産業である漁業や、市内で水揚げされた魚介類などについての理解を深めるために、子どもたちを対象に取り組んでいる事業があれば、具体的な内容を教えてください。

## 女性議会 一般質問通告書

氏名 大溪 明日香

テーマ	スマート子育て自治体を目指した取組みについて
現状や課題  意見・提案事項	<p>昨今、スマート自治体の実現に向けた取組が、各地で進められています。急速な少子高齢化や深刻な人口減少に伴うライフスタイルの変化から、共働き世帯が増加し、子育て環境も大きく変わりました。</p> <p>地域においては、少人数の保護者で町内会活動やPTA活動など、地域コミュニティを運営しなければならない状況です。また、個人情報保護に関する意識の高まりから、名簿や連絡先等の配布を禁止するなど厳しくなっています。</p> <p>現在、市役所や保育園、学校等との情報共有や、回答が必要な書類の形態は、基本的に紙媒体で、大量の書類が送られてくる状況です。子ども会やPTA活動等も同様に、紙媒体が中心の活動で、会議形態も役員などが集まらないと活動できないような状況です。そのため、フルタイム勤務や土・日に仕事がある場合、また、夜勤がある方などは仕事を休まなければなりません。</p> <p>そこで、3つ提案したいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育園・学校お便り情報共有アプリの導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとのお便り情報共有</li> <li>・スケジュール（行事、下校時刻など）共有</li> <li>・アンケートや出席回答の配信・自動集計</li> </ul> </li> <li>2. PTA等の保護者の活動をスマート化するアプリの導入支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙から電子媒体（Web上）に移行。自宅PCで活動可能</li> <li>・運営ノウハウの蓄積</li> <li>・個人情報保護対策（アクセス制御）</li> </ul> </li> <li>3. アプリの立ち上げを支援するボランティアチームの結成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ初期設定、基本データ入力、操作説明等を支援するチームを結成</li> <li>・モデル校を選定し、実証実験を行う</li> </ul> </li> </ol> <p>以上が、私の提案事項です。そこで質問します。</p>

質問

1. スマート自治体を目指して、西尾市が市内保育園、学校で取り組む内容をお教えてください。  
また、提案させていただいた「保育園・学校お便り情報共有アプリの導入」、「PTA等の保護者活動をスマート化するアプリの導入支援」及び「アプリ立ち上げを支援するボランティアチーム結成」を実施する場合に期待される効果、課題等をお聞かせください。

【再質問1】

今後、アプリの導入を検討していただくためのきっかけとして、仕事を持ちながら子育てをしている保護者の立場で、現在感じていることなどをお話しするとともに、情報共有アプリの有効性を伝えるといったような機会を作っていただけませんか。もし、そのような機会をいただければ、私自身も是非ご協力させていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【再質問2】

電子化により、仕事の休憩時間等に学校からいただいた便りの内容に目を通すことができれば、便りから得られた学校での様子や行事について、子供とゆったりと話したり、宿題を一緒に取り組む時間が増えるなど、より深いふれあいの時間が生まれるのではないかと感じております。その点については、どのように思われますか。

## 女性議会 一般質問通告書

氏名 松井 知代美

テーマ	子育て家庭の支援について
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は、現在、民生児童委員・主任児童委員として、0歳から18歳までの子どもと、その保護者を見守り、支援する活動をしています。</p> <p>年2回、「中学校いじめ不登校・問題行動対策協議会」に出席していますが、毎年不登校や引きこもりの児童・生徒が増加しているようです。学校の先生方は生徒や保護者と向き合い、予防や問題解決に向けた支援を行ってくださっています。小・中学生で学校に登校できない子どもたちは、本市においては、学習支援と学校復帰を目指す「あゆみ学級」に通うことができます。</p> <p>先日、高校生の子どもの持つ保護者から、「子どもが不登校になってしまった。どうすればよいか」という相談を受けました。以前、家庭児童支援課で「18歳までの子どもの相談については受ける」と聞いたことを思い出し、その保護者に話しをしました。</p> <p>義務教育段階までは、先生方のサポートや「あゆみ学級」のように子どもたちが通う場所がありますが、高校生で不登校になったり、高校卒業後に引きこもりになってしまうと、成人期への引きこもりへ発展するリスクが高まり、長期化が懸念されます。</p> <p>また、昨今、親による子どもの虐待により、未来を担う子どもたちの命が奪われる痛ましい事件が後を絶ちません。児童虐待の問題は、夫婦間におけるDV問題なども関連していることもあり、多くの場合、親も子も自ら支援の必要性を訴えることが少なく、問題が重症化してしまうケースが多いように感じます。児童虐待については、虐待予防のための取り組みや小さな虐待（ネグレクト）の早期発見や早期対応が重要だと思います。</p> <p>ハイリスク家庭へのきめ細やかな支援やケアや、各種相談等で集められた情報の集約化など、児童虐待、DV、不登校や引きこもりなど複雑多様な問題に対しては、ワンストップ・サービスで専門的、総合的に対応する相談機関の開設に期待したいと思います。そこで、質問します。</p>

## 質問

1. 厚生労働省は、引きこもりに特化した専門的な第一次相談窓口としての機能を有する「ひきこもり地域支援センター」を都道府県、指定都市に設置し、愛知県では、「あいちひきこもり地域支援センター」が設置されています。また、県内の各保健所においても、引きこもりに関する相談を受けていますが、市役所において、引きこもり支援・相談する専門の窓口はありますか。
2. 不登校・引きこもり支援団体である「NPO法人若者自立支援塾 ONE STEP」が西三河を中心に活動されていると思いますが、引きこもり問題への支援について、このような支援団体と連携を図っていますか。
3. 児童虐待を含めた児童相談件数は、増加傾向にあります。家族形態の変化により、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化などが進み、問題が潜在しているケースが多くなっています。本市における今後の児童虐待防止に向けた具体的な取り組みについて、教えてください。

### 【再質問】

今年度（9月末まで）の一時保護件数を教えてください。また、その後、施設へ入所した子どもたちの人数を教えてください。